

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業名	図書館奉仕事業			会計	款	項目	大	小
				01	10	05	07	02
政策	03	3節 学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）		主管課	図書・博物館			
施策	3-1	いつでも、どこでも、誰もがができる生涯学習の推進		主管課長	小栗 信一郎			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	図書館の利用者	意図	気軽に利用され、満足いただけるサービスを提供できる図書館になる。
事業内容	図書館資料の収集、閲覧、貸出、読書相談、予約サービス、相互貸借及び読書普及を目的とした各種講座や集会活動の開催等の事業を実施する。また、来館できない高齢者などに、本の宅配サービスを実施する。			
事業開始から現在までの状況変化	中央図書館、地域館2館、分館3館で図書館業務を行ってきたが、平成27年4月に、「おおたかの森小・中学校」の中に「おおたかの森こども図書館」が開館した。また、TX線開通以降は駅前返却ボックスを10箇所を増やし、おおたかの森出張所内で予約資料受け取りサービスも実施している。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	利用者数	307,442	322,904	322,063	人	↑↑↑
②	貸出冊数	1,073,367	1,138,848	1,140,302	冊	↑↑↑	
③	月曜開館利用者数	3,461	4,363	3,551	人	↑↑↑	
④	宅配サービス利用冊数	122	187	532	冊	↑↑↑	
⑤	各種事業への参加者	8,942	11,654	12,418	人	↑↑↑	4館分の主催事業+定例おはなし会
⑥							
指標で表すことができない定性的な成果	おおたかの森出張所は、平成26年7月から開始、平成27年4月は選挙の期日前投票所になったため休止した。			目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）			
事務事業のコスト	平成26年度	平成27年度	平成28年度	①児童向け事業の参加増などにより11.5%増			
事務事業の総コスト(a=b+c)	78,825,265	77,497,678	79,272,609	④宅配利用冊数は28.4%増			
事業費(b)(円)	33,911,265	33,648,978	34,297,959	⑤返却ボックス利用は、4・1%増			
うち一般財源	33,911,265	33,648,978	34,297,959	⑥おおたかの森出張所利用人数は25.7%増			
職員給与費(c)(円)	44,914,000	43,848,700	45,118,950				
人役・職員(人)	4.95	4.13	4.55				
人役・再任用(人)	0.90	1.40	1.90				
人役・臨職(人)	6.00	6.50	6.30				
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
				コストの削減	A 削減の余地はない	
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H28)の改善計画	各種事業を開催し、来館者増を図るとともに、昨年に引き続き夏休み、年末の利用が多い時期に臨時開館をする。	③取組の課題	土・日曜日や夏休み等の繁忙期に事業を行う場合、通常業務との兼ね合いが難しい。
②今年度(H28)に実施した取組	各館で児童や大人向けの行事を開催した。また、試行事業で夏休みの月曜日及び7月・8月の月末と12月28日を開館した。	④今後の改善計画	計画的な準備を行うことで、たくさんの参加が見込める時期に事業を行う。